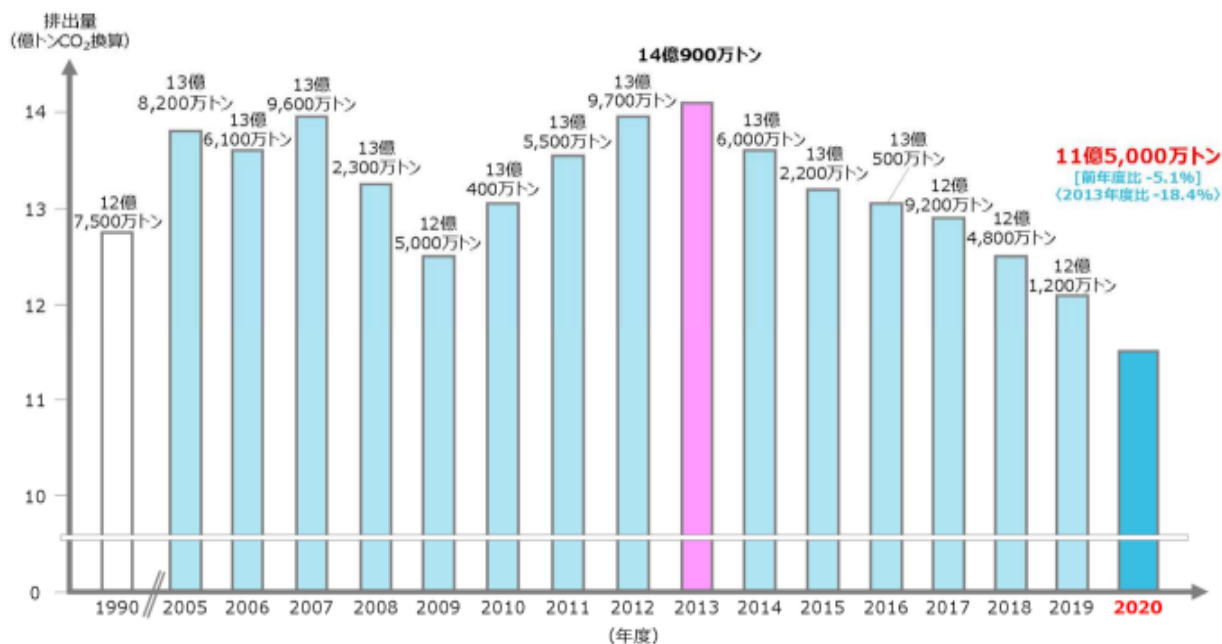


2020年の温室ガス排出量

「環境エネルギーネットワーク 21」主任研究員 岸本 哲郎

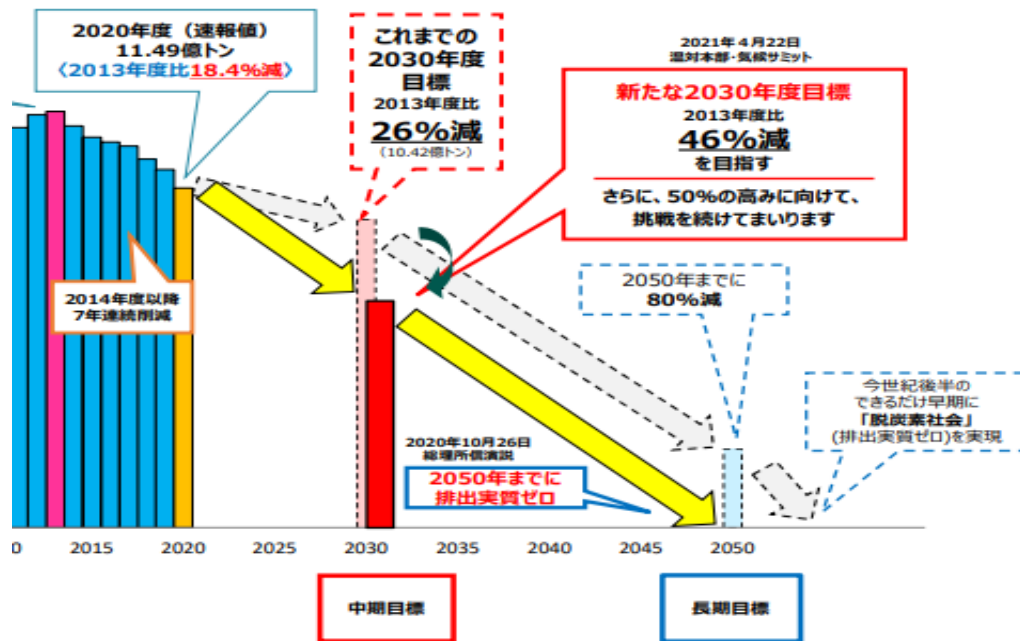
2020年の温室効果ガスの排出量は11億5000万トンで、2013年をピークに減り続けています。国民の排出抑制の活動の成果もありますが、コロナの感染影響で経済活動が停滞したことも一つの要因と考えられます。2050年には実質排出量をゼロにするという目標が掲げられています。



温室効果ガス排出量の推移

2020年度の総排出量は11億5,000万トン（CO₂換算）で前年度比：▲5.1%、2013年度比：▲18.4%になっています。2014年度以降7年連続で減少し、排出量を算定している1990年度以降最小で、3年連続で最少を更新しています。

これまでの温室効果ガス削減の中期目標と長期目標では、2030年度の目標は2013年度比▲26%の10.42億トン、2050年には▲80%でしたが、新たな目標では2030年度▲46%、2050年には実質ゼロにすると言う目標になっています。具体的に何をどうするかという行動指針が必要ですが、この数字を達成するには現状では極めて難しい目標に思えます。



温室効果ガス削減の中期目標と長期目標

出典：中央環境審議会地球環境部会 参考資料（令和4年4月）から